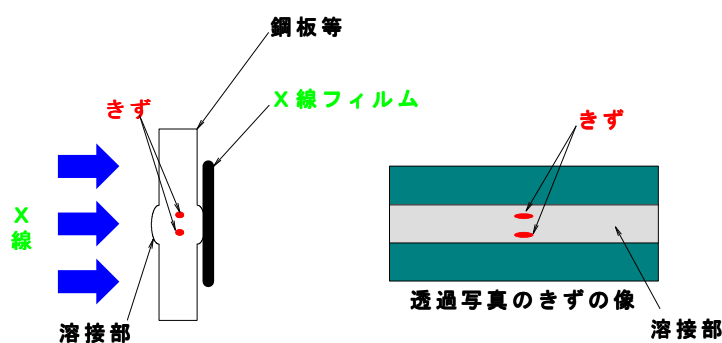


放射線検査 (Radiographic testing) 鋼構造物

概要

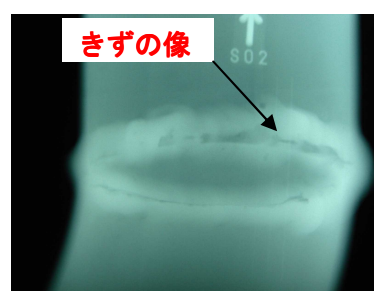
鋼溶接部などの試験体に放射線(X線)を照射すると、溶接内部のきずのある部分は、健全部よりも多く透過し、そのX線をフィルム等の感光材料で受けて現像処理すれば、きずは健全部よりもフィルム上では黒く写ります。この濃度差できずの有無を判断します。



施工例



配管溶接部の撮影状況



配管溶接部の透過写真

主な特徴

- ・金属材料及び非金属材料に適用できる。
- ・放射線の進行方向に奥行きのある内部欠陥を検出しやすく、平面位置の特定ができる。
- ・携帯式なので、あらゆる現場作業に対応できる。
- ・放射線に対する安全管理が必要である。

装置

株式会社リガク社製

RF-200EGS3

RF-200SPS

RF-250EGS2

RF-250EGM2

RF-300EGS2



携帯式X線装置

(写真はRF-250EGM2)